

施策番号	2105		
施策名	まちづくりを支えるしくみづくり		
概要	さまざまな地域でそれぞれの地域特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、まちづくり活動支援やしくみづくりを推進する。また、京都市景観・まちづくりセンターと連携して情報発信、相談事業等の支援を行う。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン，職住共存地区整備ガイドプラン， 新・京都市南部創造まちづくり推進プラン， らくなん進都（高度集積地区）まちづくり推進プログラム		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地区計画，建築協定及び景観協定の締結数（件）	e	d	127	131	4件増	100.0%	a	1.00
2	景観・まちづくりに関する相談件数（件）	a	a	994	909	761件	119.4%	b	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		c	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	23	121	232	58	31	465	c
		4.9%	26.0%	49.9%	12.5%	6.7%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 客観指標は地区計画等の締結数及び景観・まちづくりに関する相談件数としており、少なくともこれらの対象となる地域では地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化が展開されていると判断されるが、全ての地域の自主的なまちづくり活動を捕捉したものではないため、全般的な状況が捉えられる市民生活実感調査を優先している。						25年度	C
(原因分析) 【客観指標】 ●地区計画、建築協定、景観協定の締結数については、まちづくり活動の支援に継続して取り組んだ結果、地区計画が4件増(太秦安井山ノ内地区、姉小路界わい地区、河原町商店街地区、大原戸寺町地区)となり、d→a評価と改善された。 ●景観・まちづくりに関する相談件数については、 、京都市景観・まちづくりセンターによるシンポジウムやまちづくりに関するセミナーの開催等により、市民のまちづくりに対する意識が高まってきており、a→b評価と安定した評価となっている。 【市民の実感】 地域の主体的なまちづくり活動に対する支援は、これまでから様々な地域で行なっており、まちづくり活動に積極的に取り組む地域が広がってきてはいるが、全市的な広がりには至っておらず、昨年度に引き続きc評価となった。						24年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	都市計画運営経費	150,969	142,447	良い	都市計画局
2	まちづくり条例の運用	7,932	8,534	—	都市計画局
3	まちづくりに係る調査・企画・支援事業	52,811	32,888	良い	都市計画局
4	京都市景観・まちづくりセンター	104,172	103,871	—	都市計画局
5	都市計画施設等の見直し	27,997	—	—	都市計画局
6	都市計画窓口縦覧システムの更新	—	19,016	—	都市計画局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 自主的なまちづくり活動をこれまで以上に進めるため、京都市都市計画マスタープランに基づき、魅力的なまちの実現に向けて、様々な地域でそれぞれの地域の特性に応じた自主的なまちづくりのルール化やマネジメントが展開されるよう、引き続き、京都市景観・まちづくりセンターや各区役所と連携して、まちづくり活動の支援や仕組みづくりを推進していく。
- 京都市景観まちづくりセンターと連携しながら、職住共存地区に限らず市域全体を対象に、まちづくりビジョンの作成や、都市計画手法の活用を念頭に置いた地域まちづくり支援を行う。

施策名	2105	まちづくりを支えるしくみづくり										
指標名	地区計画、建築協定及び景観協定の締結数（件）											
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2－3 5 0 3								
1 指標の説明												
地区計画、建築協定及び景観協定の締結数												
2 指標の意味												
地域の魅力の高まりにつながる地域まちづくり活動の活性化状況を示す指標												
3 算出方法・出典等												
出典：事業担当課調べ												
4 数値												
	前回数値 24年度	最新数値 25年度	推移	目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	127	131	4件増	4件増	平成32年度の目標達成のために当年度達成すべき数値（今後10年間で155件の締結を達成するため、年平均3.2件以上締結）	100.0%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値												
5 評価基準												
前回数値と比較し、 a：4件以上増 b：3件増 c：2件増 d：1件増 e：0件以下												
6 基準説明												
・目標値を達成すればa評価 ・以下1件刻みでb～e評価 ※なお、協定の更新に伴い複数の地区を統合した場合、地区数が減少することになるが、協定の区域は変わらないため、地区数の減はカウントしない。												
7 評価結果												
<table><tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td>e</td><td>d</td><td>a</td></tr></table>							24	25	26	e	d	a
24	25	26										
e	d	a										

指標名	景観・まちづくりに関する相談件数（件）											
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2－3 5 0 3								
1 指標の説明												
景観・まちづくりセンターで受け付けた景観・まちづくり活動相談及び京町家なんでも相談の合計件数												
2 指標の意味												
市内各地域における地域まちづくりの機運の高まりを示す指標												
3 算出方法・出典等												
出典：事業担当課調べ												
4 数値												
	前回数値 24年度	最新数値 25年度	推移	目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	994	909	85件減	761件	平成19年度以降の年間相談件数の平均値	119.4%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値												
5 評価基準												
目標数値と比較し、 a：130%以上 b：110%以上130%未満 c：90%以上110%未満 d：70%以上90%未満 e：70%未満												
6 基準説明												
・目標値に対する達成度が100%の場合をc評価の中心と設定 ・20%刻みでa～e評価												
7 評価結果												
<table><tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>b</td></tr></table>							24	25	26	a	a	b
24	25	26										
a	a	b										